

地すべり工事に従事する地すべり防止士の皆さんの研修会に協力しました！

平成28年10月19日（水）に長野市篠ノ井村山地区において(一社)斜面防災対策技術協会長野支部主催による、平成28年度地すべり防止士の現地研修会が開催されました。

この研修は、地すべり防止士の技術向上を図るもので、受講者等55名の参加がありました。集水井の工事現場を見学後、村山健康スポーツセンターで災害時の対応や被災状況の講義、意見交換が行われました。



開会式の様子



現場ではかにクレーンを使ってますかに



現場では、工事請負業者、調査解析業者の方々による詳細な説明が行われ、その後実際の現場状況を見学しました。



講義は、当所の清水砂防課長から災害時の調査のポイント、神城断層地震、善光寺地震による村山地区の被災状況などが教授されました。フリー討議では、集水井の沈下対策等、地すべり対策工事の課題、問題点が挙げられ活発な議論や意見交換が行われました。

築造する土木施設は、長い間活用するため長期間効果を保つ必要があります。そのため携わる技術者は現場毎に知恵を絞るとともに、このような研修で日々能力の向上を図っています。